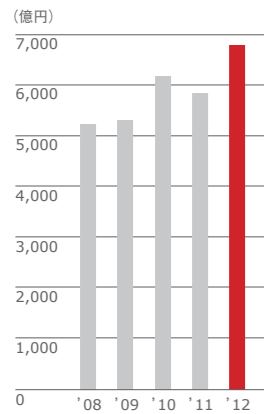


Financial Highlights

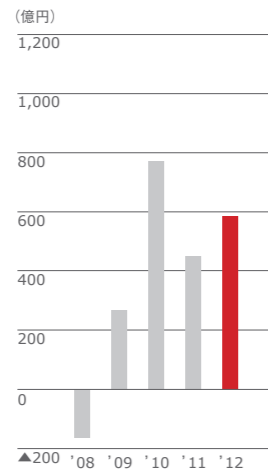
スマートフォン、タブレット、カーエレクトロニクス…。
ムラタの電子部品は、さらにフィールドを広げています。

スマートフォンは、現在、世界中で使われている携帯電話の半分程度を占めています。
3年後には、これが70%程度まで伸びると予測されています。
この市場の広がりの中で、創業以来の主力製品である積層セラミックコンデンサに加え、
通信モジュールや圧電部品が伸びています。
また、自動車関連では安全性の向上に寄与するセンサに期待が集まっています。

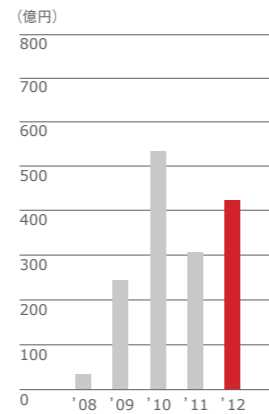
売上高



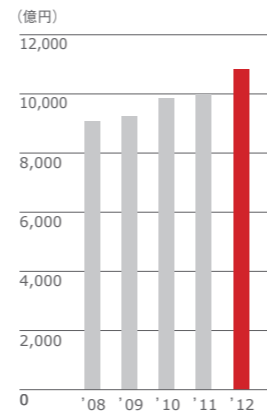
営業利益



当期純利益



総資産

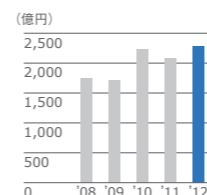
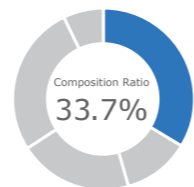


■ コンデンサ

圧倒的なアドバンテージを持つ
小型化・大容量化技術。

小型化・大容量化が求められる積層セラミックコンデンサにおいて、ムラタは世界最小の0.2mm×0.1mmサイズを開発しました。量産されているものでは世界最小の0.4mm×0.2mmサイズは、ハイエンドなポータブルデバイスでの採用が進んでいます。この分野では、圧倒的なアドバンテージを誇っています。

株式会社村田製作所 第2コンデンサ事業部
阿部 優子

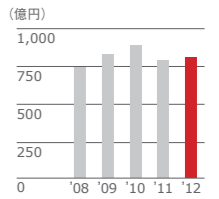
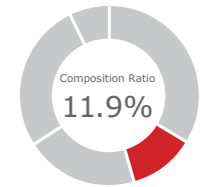


■ 圧電製品

マルチバンド、マルチモードで活躍する
表面波フィルタ。

3GからLTE、4Gへと通信規格が進化するなかで、ポータブルデバイスはマルチバンド化、マルチモード化の流れにあります。表面波フィルタやデュプレクサは、圧電部品のなかでもとりわけ大きな需要の伸びが期待できます。

株式会社村田製作所 SAW商品部
山崎 直

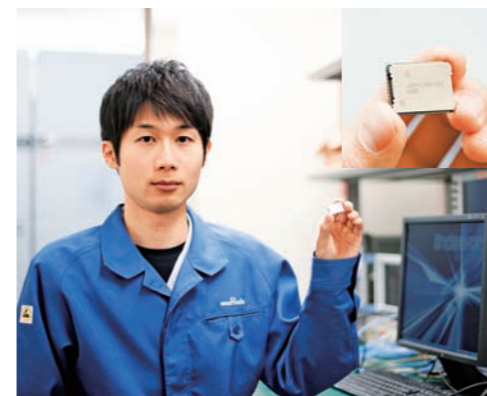
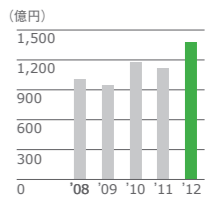
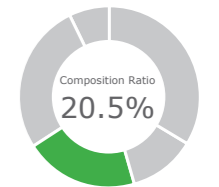
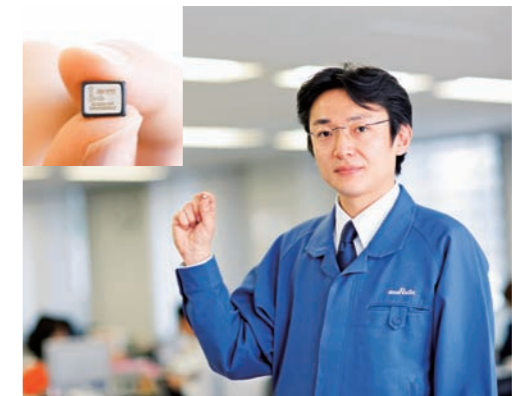


■ その他コンポーネント

MEMSを中心に、
自動車市場で伸びる。

通信分野でEMI除去フィルタやインダクタが伸びているほか、自動車関連では、各国で横滑り防止装置(ESC)などの搭載が義務化されるなか、滑りを検知するMEMSセンサ(加速度センサ)が需要を伸ばしています。

株式会社村田製作所 センサ事業部
酒井 貴智

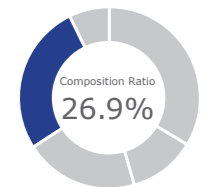


■ 通信モジュール

スペースを創り出す、
部品内蔵技術の将来性。

スマートフォンやタブレットPCの一層の多機能化が進むなかで、通信モジュールの小型化は、ますます強く求められています。多層基板技術、部品内蔵技術がそのソリューション。ムラタの要素技術を集大成して、お客様のニーズに応えます。

株式会社村田製作所 コネクティビティ商品事業部
川島 啓



■ 電源他モジュール

業界標準へ、
新たな体制づくりに取り組む。

これまで、ムラタの電源モジュールはサイズや出力などの対応によるカスタム品を得意としてきましたが、これからは業界標準品も強化していきます。この市場は大きく、グローバルに広がっており、ムラタでは新しいマーケットに挑むべく、体制づくりを進めています。

株式会社村田製作所 パワーモジュール商品事業部
藤田 奈穂子

